

件名	第2回松崎地区駅前活性化協議会
日時	2019年8月5日(月) 19:00~20:00
場所	総合相談センター どれみ
出席者 (敬称略)	協議会委員:谷口、本庄、川崎、速水、藤原、北村、佐々木(代理) 湯梨浜町役場:遠藤室長、濱本主事、地域おこし協力隊:明石 まちづくり株式会社:川田社長 (委任状)立木、澤 (欠席)河本、岸田、清水、上治、遠藤
決定事項 (合意事項)	倉吉信用金庫東郷支店長の異動により協議会委員変更。竹の細断は21日14時50分 中央公民館集合に変更。JAの傷害共済加入。
次回までの 調整事項	次回協議会開催日程は未定、例大祭以降を予定。
配布資料	第2回松崎地区駅前活性化協議会レジュメ、準竹灯籠準備行程、竹灯籠作り教室進捗報告、 竹灯籠作り募集チラシ

1. 開会

(事務局)定刻になりましたので、令和元年第2回松崎地区駅前活性化協議会を始めます。本日は5名欠席です。

(会長)あと今日は、信金さんは代理出席です。

(委員)今日は倉吉信用金庫東郷支店長の代わりでお邪魔しました。ひとつよろしく願いいたします。

(会長)よろしく願いします。支店長は7月の異動で帰ってこられました。それと今日、まちづくり会社の方で、自己紹介をお願いします。

(協力隊)初めまして。岡山県倉敷市から湯梨浜町に移住しました。地域活性のためにいろいろとやっ
ていけたらと思っておりますのでよろしく願いします。

(会長)よろしく願いします。

.....自己紹介.....

2. 会長あいさつ

(事務局)それでは、会長あいさつをお願いします。

(会長)協議会も4年目を迎えて、今回竹灯籠の関係を通じて、皆さんと一緒に地域を盛り上げていこうという事です。今のところ竹灯籠作りの参加希望者が少ない状況です。その辺のところをみなさんと一緒に、当初の目的を達成していきたいと思っています。ご協力よろしく願いします。以上です。

3. 議事

(1) 竹灯籠作り教室について (進捗報告)

(事務局)議事に移ります。議事の1番目、竹灯籠作り教室についての進捗報告です。まず、竹灯籠教室のチラシを配布しました。広報ゆりはま8月号と一緒に松崎地区に配布致しました。区長さんに配っていただきました。次に竹灯籠づくり教室の参加者にかかる傷害保険(共済)について、ここに記載してある通りですけど、JAさんの方で目一杯入れる保障金額で準備しています。死亡共済金額が300万で、部位・症状別治療共済金額が3,000円。見舞金のような形で出ます。共済掛金ですけど、1日1名あたり24円で、当初予定していたより大分安く済んだので良かったと思います。加入の手続きに必要なものとしてイベントの要項を記載した

物（チラシ等）と参加者名簿になります。チラシは出来ていますので、参加者名簿が出来次第契約したいと思えます。3番の竹灯籠保管場所についてです。旧東郷中学校の空き室を借りられるよう要望書を出したところ、まだここには書いてないですけども、返答書がきまして、さくらコミュニティの外倉庫に保管させてもらう事になりました。運動会に使う、綱引きの綱や玉入れとかが保管してある倉庫があります。そこを少し片したところに竹灯籠の段ボール10箱分くらいは保管できる場所があるという事なので、そちらを保管場所とさせていただきます。以上です。

（2）竹灯籠作り教室準備作業日程について

（事務局）では、議事の2番に移ります。竹灯籠作り教室の準備作業日程についてです。会長からお願いします。

（会長）はい。それでは資料の2枚目、竹灯籠制作のスケジュール、準備案です。チラシの配布については7月25日に副会長に大にお世話になりました。最終的に印刷して仕分けして配布をしていただきました。中興寺の方はあくまで神社の応援という事がありますので、チラシの配布は、松崎地区だけに限定させていただきました。次に今日8月5日、協議会で今後の取組みについて協議します。6日に、申し込みを加速させるために、今日の協議会が済んだ後に、副会長にお世話になりまして、放送をしようと思っています。現在の申し込みは2名です。やはり声をかけないと参加者がいらっしやらないので、再度みなさんの方に声をかけていただかないといけないと思っています。次の行程は少し飛びまして、8月16日の金曜日頃に、報道資料を提供する予定です。これは、事務局にお世話になります。TCCは別で、私から担当の方に連絡します。次に8月16日金曜日、再度放送を副会長にお願いしたいと思います。そして参加申し込みを8月19日に締め切りにはしていますので、8月19日に参加者名簿の集約をします。再度確認ですけど、チラシがどんな風になっているかここで整理します。事務局で作っていただきましたので、ポイントがあれば、紹介してもらってもいいですけど。

（事務局）募集定員が20名で、小学生以上で先着順というところと、小学生低学年は親子参加。作品は何個でも作れるということが前回の協議会でありましたので、それを追加しました。あとは、共催にまちづくり会社を追加したり、副会長の連絡先を追加したりしました。

（会長）はい、ありがとうございます。チラシにある通り、あくまでもとり銀さんの青い鳥基金助成事業になっております。低学年の場合は必ず親子参加という事が注意事項になっていますので、紹介する場合は注意してください。ちなみに現在の2名は小学1年生で、親御さんと一緒に参加という形になります。続きまして日程の方に戻りまして、8月21日です。この頃くらいまでに傷害保険に入ろうという意味合いで書いています。事務局はお願いします。それと当初19日に竹灯籠を搬入予定でしたけど、サッカー交流があるという事で、21日に変更しました。

（事務局）日韓交流のサッカーのイベントにちょっと19日20日に出るようにはしていたのですが、昨今の情勢の都合で、そのイベントが無くなりました。19日も良かったんですけど、21日に変更していただいていますので、これは予定通りで準備したいと思います。

（会長）よろしくお願いします。15時頃に搬入していただくという事でよろしくお願いします。次に21日の日程でございますけど、14時50分までに全員が集合し、みんなで作業します。場所は、中央公民館の談話室の前の庭みたいなところですよ。あの辺は風があつて涼しいです。外ですけど、副会長に確認しまして、そこで作業します。台はどんなものがありますか？箱か何か要りますか？

（副会長）台はありますか？

（事務局）いつもは、スライド丸ノコでそのまま切っていたと思えます。

(会長)竹をちょっと浮かさないといけないでしょう。

(事務局)手ノコでもし切られるのだったらコンテナかなにか台があった方がいいと思いますけど。

(副会長)手ノコだととても切れないと思う。斜めだから。まっすぐ切る？斜め？

(会長)40本は斜めで、残りはまっすぐにしようかと思っています。

(事務局)斜めのところは機械じゃないと切れないので、台はいらないと思いますけど、もしまっすぐなところをみなさんで切られるのだったら・・・。

(会長)いや、やっぱり機械でやった方が早いから。コンテナでいいんじゃないですか。

(事務局)機械だったら台はいりませんが、一応コンテナ準備しときましょうか。

(会長)お願いします。ありがとうございます。電動のこぎり2台分のコンテナ。電動のこぎりは、まちづくり会社と、副会長のお知り合いの方に来ていただく予定です。あと製作個数ですけど、実施個数につきましては、あんまり増やしてもいけないので80個。半数は斜めでなく縦に斬って、残り40個は、半分でやっていこうと考えています。細断後の保管につきましては、副会長にお世話になって、24日の作業までは中央公民館で2日間保管させていただく了解を得ています。東郷支所と書いてありますけど、細断後の竹の保管場所は中央公民館になります。それから、ブルーシートを準備いたします。電気は副会長に。作業台をコンテナにすること、これを社長のお世話になります。あと、段ボールは養生等の為に。したがって、80個竹の本数という事でよろしくお願いします。細断だけですから、2時間ぐらいあれば、いけると思っていますけど、どうですか。

(事務局)大丈夫だと思います。

(会長)当初1時くらいから予定していましたが、暑いものですから変えました。開始が14時50分という事で、ご集合よろしくお願いします。21日の関係はよろしいですか。みなさんの方からなにか。仕事がある方はダメですけど、それ以外の人は来ていただけるものと。まちづくり会社は21日大丈夫ですか。

(事務局)大丈夫です。

(副会長)誰が出られる？

(会長)今のところは、委員と事務局で6~7、8名はいるという事で。あとは欠席の方も何とか声掛けしたいと。保険無しですけど、お茶くらいは準備しないといけないと思っています。準備の関係はよろしいですか。14時50分に中央公民館集合という事で、よろしく申し上げます。つづきまして、24日の件です。24日は講師の方に副会長の方からお願いしております。12時半にはいらっしゃいますので、私も準備で12時半までに行こうと思います。場所は中央公民館の大講堂で作業します。お茶等を準備して、大講堂のすぐのところにも置きます。あとはブルーシートなどを置きます。なんとかできるだけこの日は仕事のある方も来ていただければという風に思っています。当日は準備がありますけど、竹灯籠作業の方の子ども達の応援の作業などもありますので、よろしく申し上げます。あと、作った竹灯籠の置き場は、24日はこの防災倉庫に。20個は(参加者が)持って帰りますので、60個は、今後の神社の事もありますので、防災倉庫に置きます。さくらコミュニティの方は、祭りの後という形にしていきたいと思っていますけど、よろしいでしょうか。

(副会長)コミュニティに持っていくのは祭りの後？

(会長)あとです。

(副会長)10月まで防災倉庫に？

(会長)ええ、60個ですから大丈夫です。あと、商工会に置いているのと。

(副会長)2区、3区？

(会長)ええ、2区、3区。次に、作業後の話ですけど、9月5日というのを書いています。これは

今後竹灯籠を実際に点灯する場合には、区長会の協力を得なければならないと。すでに区長会さんの方には口頭でお願いしましたが、具体的にどういう手順ですか、どういう渡し方をするか、こういう事を含めて。ろうそくも渡さないといけない。約200個を点灯していく事になるものですから、区長会に協力をいただかないといけない。その話を、9月5日木曜日、松崎神社の例大祭の打ち合わせで、副会長にさせていただきます。1区の公民館で7時からあります。そのあと各区の推薦委員さんになっている協議会委員をつなぎ役にして、区長さんとの引き渡しですとか、どういう段取りでやるかというような事を打合せしていきたいという事です。1区の公民館に8時頃に来ていただければ。例大祭の打ち合わせが済んだあと一緒になって、どういう風に連携していくかという協議の場所になりますので、お願いしたいと思います。文書をまた出そうと思っています。という事で一方的に一気に進めましたが、課題は人を集めることで。やっぱりチラシだけでは十分伝わりませんので、声掛けの方を是非お願いしたいと思います。

(副会長)みなさんのお知り合いの方で、もし、参加していただける人が合ったら、名前を教えてください。連絡先と。

(事務局)地区は限りませんよね？

(会長)一応松崎に、考えていますけど。

(事務局)そうですか。それはどうしてですか。

(会長)松崎の氏子という関係で。

(事務局)じゃあ、松崎神社の氏子に限るという事ですか。

(副会長)作るのですか？作るのはいいですよ、誰でもいいですよ。

(事務局)誰でもいいですか。

(事務局)ボランティアになるので、誰でもいいと思いますけど。

(副会長)誰でもいいですよ。チラシを配っているのは松崎地区だけですが。

(委員)子どもがいない。松崎地区は。

(事務局)じゃあ、松崎地区の方しか知らないわけですね。これは、保険の関係があるんですけど、当日参加でもOKですか。

(会長)いや、だめでしょう。名簿が。

(事務局)基本は月曜日までですか。

(会長)月曜日まで。水曜日くらいまで。

(事務局)出来たら締め切りをもうちょっとぎりぎりまで伸ばしてもいいと思うんですけど。

(副会長)もうちょっと伸ばしてもいいのでは。

(会長)水曜日くらいまで、20人集まらなかったら・・・。

(事務局)契約は最悪金曜日までに出来れば大丈夫なので。

(会長)足りなかったら、私たち実行委員がメンバーになるという事で。

(副会長)他の地域から来られたら、2つ作って1つ寄付。1つは置いて、1つは持って帰ってもらってというスタイル。

(会長)親子が一番いいです。子ども会に声をかけてみようかと思っています。旭も。それしかない。ちょうど夏休みの始業式が26日くらい。その事があって、24日に。宿題にはなる。

(事務局)宿題済んでいるかもしれないですね。

(会長)子どもさん方のところを中心に声をかけていただいたら一番ありがたいです。以上がスケジュールです。何かありますでしょうか。

(事務局)松崎神社の例大祭はいつですか。

(副会長)10月13日。

(会長)点灯は12、13日。

(副会長)12日が榊(さかき)。

(事務局)その両日とも点灯されると。

(副会長)そうですね、12日の榊は、夕方5時頃から出ます。9時くらいに帰ってくる。ですから、その間4時間です。当日、例大祭の時は点灯するのは5時くらいからですかね。神輿が6時くらいに帰ってきて、上まで上がりますから。

(会長)蠟燭600本くらい使う。2日間で。

(事務局)一日300個くらいを点灯されるという事ですか？

(副会長)各家庭に区から配っていただいて。

(事務局)かなり見栄えがしますね。

(会長)ですね。去年は少なかったので。中町の辺とかあの辺が。

(事務局)メディアの方はなんかPRしてありますか？

(会長)それを16日に。TCCに来てもらうのと、プレスを。去年は日本海新聞がきました。

(事務局)すいません、念のために確認ですけど、TCCさんとか記者クラブさんをお願いするのは、まずは竹灯籠作り教室の話ですか。

(会長)竹灯籠作り教室の話ですね。

(事務局)その後の例大祭とかは。

(会長)また改めて出すとしたら。それはTCCさん来られますから。

(事務局)では16日は。

(会長)製作の分というスタンスでいいかと。よろしいですか。以上です。保険が安かったですね。費用の謝礼等につきましてはまた。

(副会長)講師にはいくら払うかな。

(会長)竹灯籠ですか？35,000円です。参加費で一人1,500円×20人で、あと出張で5,000円。以上です、竹灯籠の関係は。

3. その他

(事務局)それでは、議事3に移ります。その他ですけど、何かありましたら。

(事務局)それでは、まちづくりの方から、お礼なりご挨拶という事で。ゆるりん館長が8月15日付けで退職という事になりました。この松崎駅前活性化協議会の方も私と一緒に世話になりましたけども。今日は引継ぎの資料とかの作成で、来られないのでみなさんによろしく伝えといて欲しいという事でした。なかなかもう残り日数が少なくなって、みなさんにお会いしてご挨拶する機会が少ないと思います。また会われたら声かけていただけたら、本人も喜ぶと思います。後任の方は今選定中でほぼ、決まりつつあります。特に運営の方は支障なく、また新しい事業等も続けて盛り上げていきたいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思っています。

(会長)急ぎよでした？

(事務局)そうですね。本人さんも次の行くところ決めとられたみたいで、そういう事もあって、割と急でした。

(会長)ちょうど1年半くらい？

(事務局)そうですね。昨年の5月すぎからでしたので、11月のオープンの半年くらい前から用意して、やってきていただいていたけど。勤めは中部地区の方に勤められるので、また顔を合わせる事もあると思います。

(会長)後任はやはり地元の方？

(事務局)そうですね。なるべく町内の方という事で、探してはいたんですけど、なかなかちょっとすぐ

には見つからないという事で。北栄の方ですけど、非常に元気な、活発な方がおられて。どうしてもゆるりん館の方も、まだまだ立ち上げ段階で、そんなにたくさん給料を出せる状態じゃないので、できれば退職されたような方とかに、上手に働いていただきながら、経験とかそういった物を持ちながら、ある程度人件費を抑えて様な形で運営していきたいなというところもあります。また協議会でも、その方かまたは協力隊の方か、二人とか三人で参加させていただきたいと思っていますので、お願いします。

(会長)ありがとうございます。

(事務局)そのほかにありますか。

(副会長)足湯の評判というか、評価というか、そういうのは何か情報的に入っていますか？

(事務局)今のところ統計とる限りでは、平均で4.8人、一日に。

(副会長)暑い時期だから。

(事務局)時期的なものもありますね。冬は割と温まって帰られる方がいらっしゃいましたけど。今大分ぬるめにしてはいるんですけど。ほぼ、この近所の方ですね。我々のPR不足っていうのもあるでしょうし、なかなか他所からこれを目当てに来られるっていう方はないですね。ゆるりん館に来たついでとか、近所の方がお話をされるのに来られるっていうところです。折角役場に作ってもらったので、なんとか有効に、喜んでいただけるような方法がありましたら、みなさんからお知恵をお借りしたいと思います。お願いします。

(委員)水道が付いてないから、水入れるときにホース引っ張ってこないといけない。

(事務局)夏場だったら暑いっていう事がありますし、今度多分冬場になると逆にぬるいっていう事も出てくると思うんですよ。これから温度管理をなるべく出来るようにした方がいいと思っておりまして。近所の業者さんにちょっと相談しましたら、2~3万くらいで温度を見ながら湯の量を調整するようなものが作れるのではないかと言われました。夏、冬に限らず、設定した温度にそれが出来れば、一番水道も使わずにいいのかなあって思っていますので、そこはこれから整備していきたいと思います。

(委員)大変だと思う、温度管理は。

(事務局)どうしても入ってくる湯の温度が違いますから、絞る量を毎日調整しないと温度が管理できないもので。

(副会長)もう一点きいてもいいかな。みんなの食堂は順調ですか。

(事務局)みんなの食堂は毎月第3木曜日に実施しておりまして、当初100人という目標でやっております。前回は108人、その前も90とか85とか、ほぼほぼ目標の来場はいただいています。それ以上増えると今度は、準備とかボランティアの負担が大きくなるので、出来れば今の100人前後を横ばいで推移していきたいなっていう事を考えています。来られる方の年齢とか地区とかっていうのを受け付けの方でチェックしておりまして。松崎の方はもちろん多いですけど、松崎以外の方も、地区外の方、羽合とか3分の1くらいおられますし、それと町外の方も結構おられます。松崎の方が3分の1で、地区外が3分の1、町外が3分の1ぐらいの割合です。年齢もみんなの食堂という事で設定した狙い通りです。小さいお子さんの未就学関係の親子連れと、かなり年配の方とか、家族全員来られたとか、年齢層もかなり幅広く来ていただいています。当初目的にしていた幅広い年代のみんなの食堂という事は実現出来ているのかなと思っています。

(副会長)唯一、達成している事ですね。

(事務局)まちづくりの中では、唯一明るい話題はみんなの食堂とふるさと納税ですか。

(副会長)最初はね、4時に食べられるかと思ったら5時半だったとかね。

(事務局)そうですね。それと第4木曜日が定着するまで、放送してもらわないとわからないという意見もいただいたりして。だんだんその第4木曜日っていうのが定着してきましたのでよかったのかな

と思います。食材もかなりたくさん集まっています、出しきれないくらい、逆に余った分を別のところの子ども食堂に分けてあげたりとかっていうくらい集まっています。それと初めのころは、みなさんがさっき言われたように4時半とか5時にどっと押しかけられて、席に座れないとかいろいろありましたけど。最近は慣れて来られて6時くらいから、8時くらいまで、幅広い時間で、みなさんが自分の時間に来られて、もう最後まで混雑せずに切れずに来られる感じになってきましたので。

(委員)大変だったけど、うれしい悲鳴だったと、話は聞いています。こんなにたくさん来られるとは思ってなかった、食材がたくさんあったから良かったという話を聞いた。夏休みっていう事もあるし、定着してきたのではないかな。

(副会長)でもあまり儲からないですよ。

(事務局)赤字ではないです。その寄付金と食材提供で、ほぼとんとんです。食材提供にない肉とか魚とか調味料とかってのを参加費で賄う感じで、あとはほぼプラマイゼロで出来ます。

(会長)もうとんとんでいきますか？

(事務局)とんとんでいきます。

(会長)ボランティアで。

(事務局)はい。

(事務局)定期的はずっと出られるボランティアの人数が確保できてないそうです。今運営委員方式でやっているみたいですが、全員がずっと参加できるわけではないので、ボランティアの人がもう少し欲しいと聞いています。お勤めの人には難しいかもしれないですけど、退職されている方でどなたか関わられる方がいらっしゃったら、よろしくお願いします。

(会長)はい、良い人がいたらという事で。ゆるりん市の方はどうですか。

(事務局)ゆるりん市の方は、月に1回、第2日曜日になっています。始めの1回、2回は、かなり珍しさもあって、たくさん来られすぎて、3回、4回目に一気に減って。ちょっとマンネリ気味になってきましたけども、最近は担当が変わりましたし、移住コーディネーターが担当してから中身も変わってきました。今度は子どもさんが夏休みですので、子どもさん対象のプラレールのイベントをしたり、タピオカをしたりといろいろと目先が変わってきています。一回マンネリ化しかけたところを、今いろいろと改善しながら、来られる方にも、出店される方にも楽しんでいただけるような方向に向かっているところです。やはり、ゆるりん市を知らないという方がかなりいらっしゃったので、ピラを町内だけではなく倉吉の方にもちょっと広げまして、その関係もあったりしてかなり広域の方から来られるようになりました。食堂のメニューも分からないっていう声がありましたので、メニューも裏に両面刷りして、宣伝するだけの効果は出てきたなと思っています。

(会長)ありがとうございます。ほかになにか、副会長はよろしかったでしょうか。

(副会長)いいです。

(会長)その他何かありましたら、事務局の方から何か。

(事務局)今後皆さんにお願いすることがあるかもしれないですけど、地域おこし協力隊としての任務に、東郷地域の空き家の発掘、掘りおこしがあります。最初のうちは泊の方を回っていただきますが、慣れてきたら、東郷地域を回られる予定です。例えば区長さんにいろいろ聞き取りさせていただく事もあると思うので、良い情報がありましたら是非ご提供をお願いします。

(副会長)そういう情報が、前は結構入ってきて、町の移住定住の促進をしている協力隊の方が出入りされて、こういう方がいるけどどっか良いところないだろうかっていう話は結構あった。けど今、それもないから。だからこちらからどうっていう事もない。1区に大阪から来られた人がいましたが。ああいうのは情報を聞いたから、ここはどうだろうかっていう提供をしたわけで。

(会長)活性化推進員が、ちょうど舎人、東郷、松崎に4人いらっしゃるから、そこを時々訪問して相談

されたら。

(事務局)目的として、空き家バンクに登録できる物件が欲しいです。県外の方が直接ここに相談に来る前に、まずはインターネットの空き家バンクを見て、目星をつけられるような物件を増やしたという事情があつて。もちろん個別にこんなのかなつていう相談もあると思いますが、まずは空き家バンクに登録させてもらえる物件を増やしたいです。

(会長)一番地域の情報は、活性化推進委員さんが持ってらっしゃる。ですから、そういう相談も推進委員さんに。その中核に副会長がいらっしゃいますので。

(事務局)流れとしましては、これから協力隊さんに東郷地域を中心に回っていただいて、今どれみにおられる別の協力隊の方が泊地域を中心に回って、空き家の発掘、掘り起こしをしていただくと。まちづくりの移住コーディネーターさんには、主に県外の相談会とか、鳥取県や湯梨浜に移住を検討される方との橋渡りという感じで、そこで地元の住むところと仕事を繋げていくと。そういう役割分担でいこうと思っています。もちろん移住コーディネーターに声をかけてもらっても結構です。

(会長)困ったら副会長のところに。だいたい解決します。

(事務局)信金さんはないですか？空き家を貸したいというような、そういう情報は。出せられませんか？町の方に。

(委員)信用金庫の支店間で全員が見える、掲示板みたいなものがあります。そこに情報提供依頼を出す事は出来ますので、注意しておきます。

(事務局)例えば相続の手続きでお店にこられた方で、空き家になりそうな方に、空き家バンクの制度の話をしていただければ、また一つの繋がりになるかもしれません。

(委員)来週はお盆なので、そういう方がぞくぞく来られる予感がしていますので。気を付けておきます。

(会長)情報発信が難しいところもありますけど、出来る範囲でということでもよろしくお願ひします。そのほかございませんでしょうか。みなさんの方からよろしいでしょうか。今日鳥取は36.9度、今年いちばん熱いという事で、松崎も結構暑かったですけど。ちょうど1時間になりましたが、いかなものでしょう。

4. 閉会

(事務局)それでは、閉会です。最後に。

(会長)副会長。

(副会長)閉会の挨拶ですけど、盆が間近に迫って来ていまして、この8月もあつという間に月末が来る感じがします。毎年のごとでございますが、この竹灯籠も24日に作る予定ですけど、それまでの日数が、多分盆挟んでの話ですから、忙しく大変だと思います。まずは参加していただける方を、早急に、みなさん頭の中にあれば、ちょっと連絡なりしていただいて。それくらいしないと多分集まらないかもしれません。チラシだけじゃあ無理かも知れませんが、よろしくお願ひします。竹灯籠が良い具合に完成できるようにやっていきたいと思ひますので、ひとつ協力のほどをよろしくお願ひします。以上です。

(会長)ありがとうございました。

(全員)ありがとうございました。

(事務局)では、令和元年第2回松崎地区駅前活性化協議会を閉会します。次回はどうしますか。

(会長)いずれにしても10月が済んでから、反省会も含めて交流の機会を。

(事務局)当面活性化協議会は竹灯籠くらいですか。

(副会長)そうですね。あと11月が元気祭り。

(会長)いずれにしても反省会を、年内には。では以上で終わります。ありがとうございました。